

12) 鬼柳地区（鬼柳町自治振興協議会）



●地域の将来像

「歴史をたずね 新田園都市創造をめざして おにやなぎ」

～先人から伝えられてきた鬼柳の歴史を大切に守りながら、従来の田園と住みよい住環境の調和を保ち、お互いに支え合い、融和な発展的まちづくりを目指します～

1. 美しい生活環境のまち

鬼柳の自然を大切に守り、誰もが快適に暮らせる環境づくりを目指します。

2. 地域を学び未来を考えるまち

世代間と新旧住民の交流を図り、地域に伝わる歴史・文化に親しみながら、保存・継承に努めます。

3. 安全・安心のまち

「鬼柳に住み続けたい」と思えるような安全で安心な、生きがいを持って暮らせるまちづくりを目指します。

●地域の現状

1. 現在の姿

鬼柳町の北には和賀川が流れ、南には縄文時代から藩政時代に至るまで鬼柳の歴史を刻み、育てたみどりの丘陵地帯を残しています。また、中央平地は和賀川の扇状地として肥沃な農地が開拓され、今日は豊かな農村地帯となっています。

一方、近くには南部工業団地、金ヶ崎工業団地等があり、中心市街地にも近いことから年々住宅開発が進み、人口の流入は数十年で倍増し、市街地をサポートするベッドタウンとして市発展に寄与していることを喜びとす

ると共に地域住民の交流を図ることがますます重要となってきました。

また、当地区には国指定の南部領伊達領境塚のほか鬼柳の歴史を物語る「鹿島館」や南部藩時代の貴重な歴史遺産、古くから伝わる伝統芸能があります。これらを守り、次世代につなぐことが大きな課題でもあります。

このような地域の特性から、鬼柳町は「新田園都市創造」を実践するにふさわしい地域といえます。

2. 人口（平成 27 年 3 月末現在）

人口	5,526 人
世帯数	2,056 世帯

3. 公共施設の現況等

小学校、保育園、清掃事業所、簡易郵便局、学童保育所、和賀川ふれあい広場、農業集落排水処理施設、地区交流センター

4. 地域活動の状況

- ・自治公民館(21 館)単位での活動が活発に行われています。
- ・「鹿島館」を中心とした鬼柳の歴史を知り、守る活動が展開されています。
- ・「健康まつり」をはじめ、町民の健康を願う事業が展開されています。
- ・伝統芸能の伝承活動が活発に行われています。
- ・町民運動会、区対抗スポーツ大会等スポーツを通じた地域の交流に努めています。

●地域の課題

1. 社会インフラの整備

鬼柳町内の道路・用排水路は昭和 27 年の土地改良事業実施以来、順次整備されているものの、依然未整備の部分が多くあります。日常的に交通、防災、除雪等で支障を来している路線を優先し、実現に向けて要望します。

2. 産業振興対策

住宅開発が進む一方、地域の商店の撤退があり、特に高齢者が生活に不便を感じており、商業関係の誘導に対する住民のニーズが高くなっています。

3. コミュニティの醸成

町民が気軽に立ち寄ることで、従来からの住民と新しく住まいした住民が親しく情報交換し、また積極的な世代間交流を図ることができるサロンの設置が強く望まれています。

4. 定住人口の確保

地域住民の定住化につなげられる魅力ある地域づくりと、安心して子育てができる環境づくり(公園、集う場所)が望まれています。

●地域づくりのプラン

1. 生活基盤としての道路整備と安全対策に係る要望活動

- (1) 県道南側の東西線(国道以西)ほか18路線の改良舗装等の早期実現
- (2) 南北線の和賀川堤防乗入れ線の整備
- (3) 国道4号都鳥交差点安全施設の早期実現
- (4) 飯豊赤坂線の路線計画の周知と住民意見の尊重
- (5) 幹線道路(旧国道4号線～北上和賀線ほか2路線)の拡幅改良等の早期実現
- (6) 県道の拡幅と両側の側溝の整備

2. 下水道処理、用水、排水対策に係る要望活動

- (1) 水洗化の整備促進
- (2) 通学路の農業用水路に安全施設(蓋、ガードレール、フェンス)の設置
- (3) 農振除外地の排水路の整備
- (4) 雨水対策として県道横断管渠の入替

3. 農業及び商工業等、産業振興対策

- (1) 中核農家及び農業後継者の育成支援
- (2) 岩手中部土地改良区の農道及び用排水路の整備事業への支援
- (3) 遊休農地及び耕作放棄農地の利活用
- (4) 農業用水や湧水を利用した親水的な公園の整備
- (5) 世代間交流ができるサロンの設置
- (6) 農振地域の宅地虫食い状況の進行阻止
- (7) 県道沿いの農振除外地に商業関係の集積誘導

☆評価指標

耕作放棄地面積の減少(鬼柳町全農地面積334.95ha)

目標 H32年度 1.0ha 0.3%

現状 H26年度 1.44ha 0.43%

4. 地域の資源を生かした景観保全、史跡公園等の整備

- (1) 丘陵地帯、和賀川周辺緑地の積極的保全
- (2) 和賀氏ゆかりの館、鬼柳氏の鹿島館を町

民の「いこいの場」として環境整備
(3) 南部藩時代の関所・街並等旧跡地の整備
(4) 町内史跡の案内板・標柱の維持管理
☆評価指標

「いこいの場」イベントを継続し、参加者増加を図る

目標 H32年度 300人

現状 H26年度 150人

5. 地域教育・スポーツ振興策

- (1) 郷土の屋号、地名、方言等の調査・保存事業
- (2) 健康増進及び歴史学習の場としてウォーキングコースの整備
- (3) スポーツ振興策として鬼柳小学校にナイター設備の整備
- (4) 地域と学校一体の教育振興

☆評価指標

ウォーキング参加者数

目標 H32年度 10,000人

現状 H26年度 3,000人

6. 命と財産を守る防犯・防災・交通安全対策

- (1) 湛水防除設備の早期完成
- (2) 災害発生時の連絡網の整備
- (3) 和賀川堤防の点検と整備の要請
- (4) 防犯及び自主防災組織の日常活動の実践
- (5) 安全マップ作成
- (6) 通学路危険個所の信号等設置
- (7) 交通安全運動の実施

☆評価指標

防災訓練参加世帯数(全世帯数2,056世帯)

目標 H32年度 1,000世帯(49%)

現状 H26年度 717世帯(35%)

7. 町民運動による健康・福祉のまちづくり

- (1) 特定検診受診率向上に向けた町民運動
- (2) 鬼柳地区福祉ボランティアの推進
- (3) 災害時の一人暮らし高齢者支援
- (4) 体力増進に向けた町民運動

☆評価指標

特定検診受診率

目標 H32年度 50.0%

現状 H26年度 30.8%